

## グローバル株式トップフォーカス

設定日：2016年3月31日

償還日：無期限

決算日：原則、毎年3月15日

収益分配：決算日毎

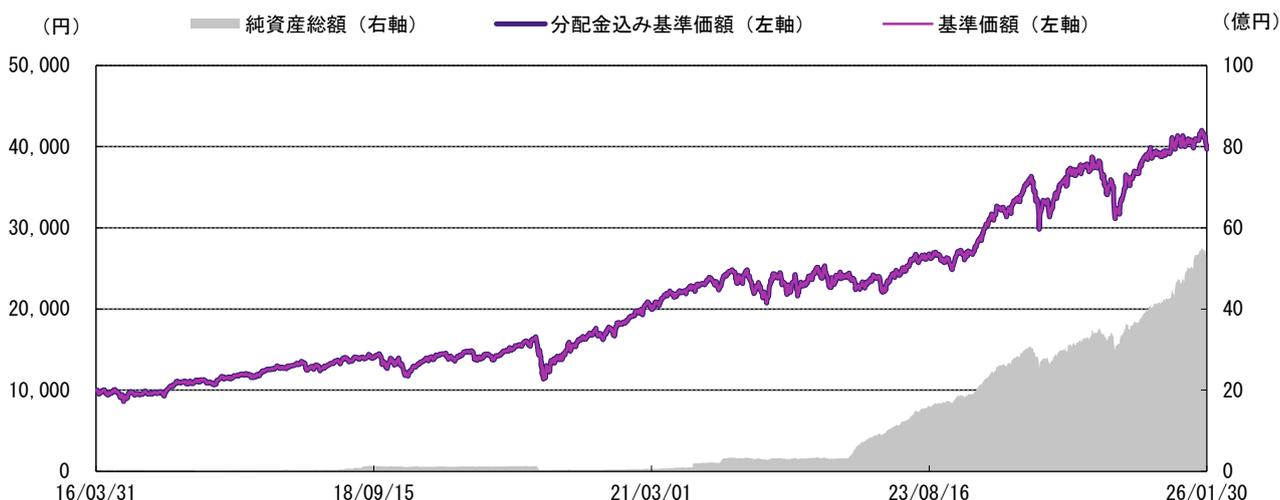
基準価額：39,677円

純資産総額：52.09億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 運用実績

## ＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

## ＜基準価額の騰落率＞

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-2.85%	-2.93%	0.34%	5.40%	71.03%	296.77%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

## ＜分配金実績（税引前）＞

21・3・15	22・3・15	23・3・15	24・3・15	25・3・17
0円	0円	0円	0円	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

## ＜資産構成比率＞

アモーヴァ・グローバル・エクイティ・ファンド クラスP	97.9%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## アモーヴァ・グローバル・エクイティ・ファンド クラスP

※アモーヴァ・アセットマネジメント・UKリミテッドより提供された情報です。

※以下は当外国投資信託における数値です。比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

## &lt;資産構成比&gt;

株式	97.4%
現金その他	2.6%

## &lt;組入上位10カ国&gt;

アメリカ	60.8%
日本	6.6%
イギリス	4.7%
中国	4.1%
スウェーデン	3.1%
スペイン	2.9%
イタリア	2.8%
シンガポール	2.6%
インド	2.5%
オランダ	2.4%

## &lt;組入上位10通貨&gt;

アメリカドル	66.7%
ユーロ	12.0%
日本円	6.6%
香港ドル	3.3%
スウェーデンクローナ	3.1%
シンガポールドル	2.6%
インドルピー	2.5%
イギリスポンド	2.2%
豪ドル	1.0%

## &lt;組入上位10業種&gt;

情報技術	22.3%
金融	21.4%
ヘルスケア	15.3%
資本財・サービス	14.4%
一般消費財・サービス	13.5%
生活必需品	4.9%
コミュニケーション・サービス	3.5%
素材	2.1%

## &lt;規模別構成比率&gt;

時価総額	比率
超大型株（500億米ドル以上）	64.7%
大型株（100億米ドル以上500億米ドル未満）	17.0%
中型株（20億米ドル以上100億米ドル未満）	15.7%
小型株（20億米ドル未満）	0.0%

## &lt;組入上位10銘柄&gt;（組入銘柄数：43銘柄）

	銘柄	国名	業種	比率
1	エヌビディア	アメリカ	情報技術	7.5%
2	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	5.6%
3	アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス	5.5%
4	ブロードコム	アメリカ	情報技術	3.4%
5	カイヤバンク	スペイン	金融	2.9%
6	インテザ・サンパオロ	イタリア	金融	2.8%
7	DBSグループ・ホールディングス	シンガポール	金融	2.6%
8	ソニーグループ	日本	一般消費財・サービス	2.5%
9	コカ・コーラ・ユーロパシフィック・パートナーズ	イギリス	生活必需品	2.5%
10	バイオテクネ	アメリカ	ヘルスケア	2.5%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ◎市場環境

米国株式市場は、前月末と比べて上昇しました。米国がグリーンランドの領有を巡り同調しない欧州各国に対して関税を引き上げる方針を表明したことを背景に、米国と欧州との関係悪化への懸念から株価が下落する場面があったものの、その後追加関税が撤回され市場に安心感が広がったことや、米軍の攻撃によりベネズエラ大統領が拘束されたことを受けて、同国の石油利権に再参入できるとの期待が高まりエネルギー株が大幅高となったこと、米国連邦準備制度理事会（FRB）議長が米国連邦公開市場委員会（FOMC）後の記者会見で、経済成長見通しについて明確な改善がみられるとの認識を示したことなどから、株価は上昇しました。

欧州株式市場は、前月末と比べて概して上昇しました。前半は、米軍の攻撃によりベネズエラ大統領が拘束されたことを受けて、同国の石油産業が米国主導で再建され、欧州も恩恵を受けるとの期待からエネルギー株が大幅高となったことや、ドイツの消費者物価指数（CPI）速報値が市場予想を下回ったことなどが支援材料となり、株価は総じて上昇しました。後半は、米国がグリーンランドの領有を巡り同調しない欧州各国に対して関税を引き上げる方針を表明したことを背景に、米国と欧州との関係悪化が懸念されたことや、ドイツの一部企業の業績発表が市場の期待に届かずハイテク関連株が下落したことなどから、株価は概して下落しました。

1月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比プラス4.62%、日経平均株価が同プラス5.93%となりました。前半は、堅調な経済指標などを背景に米国の株式市場が上昇したことや、衆議院の解散観測を受け、総選挙で与党が勝利すれば拡張的な財政政策を推進しやすくなるなどの思惑などから、国内株式市場は上昇しました。後半は、デンマーク自治領グリーンランドの取得を目指す米国と、デンマークをはじめとする欧州各国との対立が懸念されたことや、日本と米国の当局による、為替介入の準備段階とされるレートチェックの実施観測が伝わり円高/アメリカドル安が進行したことなどが株価の重しとなり、国内株式市場は下落しました。

東証33業種分類では、非鉄金属、石油・石炭製品、機械などの27業種が上昇する一方、サービス業、情報・通信業、その他製品などの6業種が下落しました。

## ◎運用概況

当月のグローバル株式市場は、ボラティリティが高い展開となりました。地政学的緊張が高まるなかでも、投資家の間ではリスク選好ムードが強まりました。トランプ米大統領はベネズエラに軍事攻撃を仕掛けたほか、グリーンランド領有への意欲やイラン攻撃の可能性を示し、自身の意向に反対するあらゆる国に対して関税引き上げを示唆するなか、貴金属価格は急上昇し、株式市場では金利低下と成長加速への期待が意識されるなか、ゴールドクロス環境を想起させる場面もありました。

バリュー株が引き続き優位な状況下、クオリティ株にとっては厳しい局面が続きました。金および銅価格の上昇がコモディティ関連銘柄を牽引し、原油価格が伸び悩んだにもかかわらず、エネルギーセクターは底堅く推移しました。足元では、人工知能（AI）分野における勝者と敗者の存在がより明らかになっています。AIのスケール拡大に伴う多くのボトルネックを解決する企業は、AI特需を謳歌しており、当月はこのような銘柄がプラスに寄与しました。カーチス・ライトは原子力発電用反応炉冷却ポンプを、アンフェノールはデータセンター向け重要部品を供給しています。また、グローバル鉱山機械サプライヤーのサンドビックや半導体技術サプライヤーのASMインターナショナルもプラスに寄与しました。

AIにより圧迫を受ける可能性のある銘柄に対して、概して市場は「まず売却して、後で考える」という姿勢を強めています。最も直接的な標的となったのはソフトウェア銘柄です。ITサービス企業のジェンパクトや金融ソフトウェア企業のトリストは、当月は振るいませんでした。個別材料としては、携保集団が、中国国家市場監督管理総局が独占禁止法調査を開始したことを受けて、株価が急落しました。また、ハイパースケーラー企業の収益性に対する懐疑論も高まっており、マイクロソフトは、巨額設備投資などによる収益性が疑問視されてAI勝者からAI敗者へと市場の評価が転じました。

当月は企業固有のニュースフローは限定的で、バリュー株がグロース株を上回るなど継続的なスタイル要因が逆風となりました。

## ◎今後の見通し

当ファンドでは、2026年のクオリティ投資を取り巻く環境は、より好ましいものになると考えています。クオリティ株とバリュー株の相対的なバリュエーションが収束し、景気敏感株の牽引力が弱まりつつあることから、スタイルローテーションは徐々に緩和される見込みです。同時に、ハイパースケーラーにとってAI投資サイクルは資本集約度が高まり、フリーキャッシュフローや投下資本利益率（ROIC）に圧力を与えています。場合によっては、将来のクオリティ特性を損なう可能性もあります。一方で、設備投資の受け手となる企業は、引き続き旺盛な需要と高い収益性の恩恵を受けています。

足元では、高クオリティ株が投資家から敬遠され続ける一方で、低クオリティ株に投資が殺到する流れが市場を支配しています。歴史的にみると、高クオリティ株の低調な推移は、市場下落局面よりも上昇局面で発生することが多いようです。1990年以降、先進国株式市場が下落した年は比較的少ないものの、そうした年において高クオリティ株は概ね底堅く推移してきました。これは、リスクオンの局面における上昇源というよりも、ディフェンシブな資産としての役割を果たしてきたことを裏付けています。

こうした経験は、クオリティ株投資の重要性を浮き彫りにしています。一部のクオリティ戦略は、バランスシートの強さとAIテーマとの関連性から、大型の情報技術銘柄への偏りを強めてきました。しかし、次の調整局面がAIセンチメントの反転によって引き起こされる場合、このような投資は想定ほどディフェンシブ性を発揮しない可能性があります。また、クオリティ戦略は高い収益性を有する情報集約型企業に支配される傾向にありますが、これらの企業は明らかにAIの敗者とみなされるグループに属しています。市場はこうした企業の最終価値を疑問視しており、多くの企業で初期のバリュエーションが高かったことも考慮すると、バリュエーション調整は深刻です。ただし、これら全ての企業が悲観的な結末を迎えるわけではないと考えています。AIの敗者とされる銘柄に対する懸念が高まる一方で、誰が最終的な勝者になるかは確信が持てない状況です。

「株式市場の役割は最大限の苦痛を与えることだ」と言われることがあります。足元の市場は見事にそうなっています。しかし、市場の集合知が示唆する将来と実際に起こることが大きく異なる可能性は十分にあります。現在の市場は、「AIの勝者か敗者か」に二極化しています。将来の市場は、より複雑なニュアンスを持つ可能性が高く、当ファンドの使命は将来の勝者の側に立つことです。足元のバリュエーション格差が大きく縮小しており、安定した利益創出と株主還元が長期的な株価動向の主要な原動力となるとみられます。当ファンドの投資理念である「フューチャー・クオリティ」のアプローチは、一貫して高いROICを達成し、それを持続できる企業に焦点を当てています。市場のボラティリティが高まるなかでも、持続的な競争優位性を見極め、規律ある資本配分、景気循環を通じた価値の複利効果といった当ファンドの長年の投資哲学は、長期的な資産形成において依然として有効な枠組みであると考えています。実質キャッシュフロー収益の複利効果こそが、長期的な収益化の基盤と考えています。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額**  
**は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読み**  
**ください。**

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ご参考情報

※「組入上位銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※記載の見解等は、アモーヴァ・アセットマネジメント・UKリミテッド による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ＜組入上位10銘柄の銘柄概要＞

1	<b>エヌビディア</b>
データセンターにおける人工知能処理専用の半導体や、テレビゲームや自動運転向け半導体を開発する大手企業。GPU、CPU、DPUと呼ばれる演算装置と関連ソフトウェアの組み合わせにより独占的な市場シェアを持つ。人工知能が普及する新時代で、データセンターへの投資競争から恩恵を受け、未来の経済構造を転換する非常に良い立場にある。	
2	<b>マイクロソフト</b>
世界最大規模のテクノロジー企業。商用クラウドサービスの強化により、ソリューション・プロバイダーとしての有力なポジションを確立し、利益率、キャッシュフロー創出力を高めることに成功している。また、積極的な二酸化炭素排出量削減目標を通してESGを強化するとともに、プライバシーやデータ規制への対応においても業界をリードしている。	
3	<b>アマゾン・ドット・コム</b>
オンライン小売企業で、AWS事業を通じてクラウドでも主導的な地位。企業クラウド利用率はまだ低く、成長の余地。一方、雇用と設備投資のコスト規律を重視し始めており、コロナ関連での巨額投資の終焉と相まり、利益率上昇が期待される。GHG削減で他社をリードし、包装の削減を通じ、2025年までに再生可能エネルギー100%の運営を目指す。	
4	<b>ブロードコム</b>
IT分野の世界的大手で様々な半導体の設計・製造、企業向けやセキュリティー用ソフトウェアを手掛ける。半導体市場の安定的・長期的成長から恩恵を受け、高利益率ながら具体性のある人工知能関連売上を有し、配当利回りも魅力的である。同社の製品・サービスはイノベーションを支える重要な役割を果たしており、未来の経済への移行を促すものである。	
5	<b>カイヤバンク</b>
スペイン最大のリテール銀行。同社の多様な事業構成、規律あるリスクプロファイル、そして50億ユーロ規模のテクノロジー変革による継続的なコスト優位性を通じて、高い自己資本利益率（ROE）を維持できると考える。同社は1,000億ユーロ規模のサステナブルファイナンス計画を掲げ、金融包摂の取り組みや責任ある顧客対応を実施している。	
6	<b>インテザ・サンバオロ</b>
インテザ・サンバオロ（ISP）は、時価総額でイタリア最大の銀行。資産運用やウェルスマネジメント、手数料収入型ビジネスが収益の40%以上を占め、引受業務の改善に伴い、構造的に優れた収益モデルを有している。積極的なIT改革により、現在では60%以上のITインフラがクラウドへ移行し、サービス提供の向上、コスト削減、AI導入が実現されている。同社はガバナンス、人材育成、消費者の金融保護においても高い評価を受けており、複数のサステナビリティ評価機関から認定済み。	
7	<b>DBSグループ・ホールディングス</b>
DBSは、シンガポールおよびアジア地域で展開する金融グループ。規律ある融資審査、保守的なバランスシート管理、資産運用の手数料収入増加で、10%台後半のROEを維持。デジタル化や慎重な資金調達構成が収益性を高めている。また、気候変動への取り組み、強固なガバナンス指標、またサステナブルファイナンスポートフォリオを有する。	
8	<b>ソニーグループ</b>
テクノロジー・エンターテインメント企業。音楽、ゲーム、アニメ、CMOSセンサー等のプラットフォームとIP（知的財産）は、長期的な収益性の原動力である。同社は、クリエイティブな分野に注力し、資本集約度の低いビジネスを展開。また、独立取締役会および独立した主要委員会が過半数を占めるガバナンスの実践で、同業他社をリードしている。	
9	<b>コカ・コーラ・ユーロパシフィック・パートナーズ</b>
Coca-Colaの最大ボトラー。2021年にCoca-Cola AmatilやフィリピンでCoca-Colaのボトリング事業を買収。売上の多様化に成功し、長期的な成長が期待されます。フィリピンでは、2800以上のリサイクル回収所を開設し、年間20億本のPETボトルを処理できる初の食品用PETリサイクル施設を建設しました。	
10	<b>バイオテクネ</b>
ライフサイエンス機器企業。タンパク質製造から細胞・遺伝子治療、ラボ自動化、リキッドバイオプシー、空間ゲノミクス等、成長分野に転換。コロナ渦時の在庫や米国規制の逆風は収束し、業界トップ水準の売上成長へ回帰中。同社の革新は、高齢化社会を支え、医療費抑制に貢献。	

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。





## 世界の株式を投資対象として厳選投資を行いません。

- 日本や新興国を含む世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主な投資対象とし、投資スタイル（グロースやバリュー）、国・セクターなどにとらわれることなく、相対的に魅力があると判断される40～60程度の銘柄に厳選投資します。
- 高収益の実現・維持には、ESG（環境・社会・ガバナンス（企業統治））を考慮した経営が不可欠として、ESGの総合評価を重視した銘柄選択を行いません。また、組入銘柄全体としての売上高当たり温室効果ガス排出量を、主要な世界株指数における水準の8割以下に抑えることをめざします。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。



## アモーヴァ・アセットマネジメント・UKリミテッドが実質的な運用を担当します。

- 株式運用において実績を持つアモーヴァ・アセットマネジメント・UKリミテッドのグローバル株式運用チームが、当ファンドの主な投資対象である「アモーヴァ・グローバル・エクイティ・ファンド クラスP」の運用を行いません。

当ファンドでは、事業に投じた資金に対して効率的に高い利益を生みだし、それを持続することができる企業を『**フューチャー・クオリティ企業**』と呼び、魅力的な投資対象と考えています。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

### ●当ファンドは「ESG投信」です

- ・当ファンドは、全ての組入銘柄の選定においてESGを主要な要素としており、アモーヴァ・アセットマネジメントが「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」を踏まえて定めた「ESG投信」です。
- ・独自のESG総合評価を行なうことを義務としているほか、ポートフォリオ全体としての温室効果ガス排出量の抑制を目標に掲げています。

※詳細は、投資信託説明書（交付目論見書）をご参照ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2016年3月31日設定)
決算日	毎年3月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ルクセンブルクの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理動定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

## ■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

**購入時手数料** 購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内  
※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

**換金手数料** ありません。

**信託財産留保額** ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

**運用管理費用(信託報酬)** 純資産総額に対し年率1.238%(税抜1.13%)程度が実質的な信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.188%(税抜1.08%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.05%程度となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。

## その他の費用・手数料

目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 <a href="http://www.amova-am.com">www.amova-am.com</a> 〔コールセンター〕 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

## 【価格変動リスク】

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

**【流動性リスク】**

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

**【信用リスク】**

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

**【為替変動リスク】**

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

**【カントリー・リスク】**

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

**【ESG投資に関するリスク】**

- ・ESG特性を重視して投資を行なうため、ファンドの基準価額の値動きは市場全体の値動きと異なる場合があります。その結果、ファンドの基準価額は大きく変動する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めさせていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・当ファンドの運用プロセスにて定める「GHG（温室効果ガス）排出量の抑制」に資する銘柄が著しく減少した場合には、運用プロセス自体を見直すことがあります。その際、暫定的に運用プロセスを遵守できなくなる可能性や当ファンドが想定するパフォーマンスと異なる可能性があります。
- ・当ファンドの運用プロセスにおいてESG評価機関などから提供されるデータを活用する場合がありますが、当該データは投資対象となる企業の情報開示が不十分などの理由により完全性・即時性を確保できないことがあります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券） （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○		○	
北洋証券株式会社	金融商品取引業者 北海道財務局長（金商）第1号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
momoo証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3335号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。